

第2回藤井寺市地域公共交通会議 会議録

日 程：令和6年12月2日（月）10時00分～11時25分

場 所：藤井寺市役所 3階 305会議室

出 席 者：別紙参照

会議議題：1. 開会

2. 委員紹介

3. 議題 (1) 前回交通会議議事の振り返り
(2) 市民意見募集結果
(3) 運行エリアの検討
(4) 運行方法案
(5) 今後のスケジュール案

4. 閉会

傍聴者：5人

議事内容：

1. 開会

猪井会長：あいさつ

2. 委員紹介

- ・配布資料の確認
- ・代理出席者のみ報告し、委員18名の内14名の出席により本委員会の成立を報告。
(1名遅れての出席となったため、結果15名が会議に参加)

3. 議題

議事(1) 前回交通会議議事の振り返り

<事務局より説明> → 特段意見なし。

議事(2) 市民意見募集結果

<事務局より説明> → 特段意見なし。

議事(3) 運行エリアの検討 ・ 議事(4) 運行方法案

<事務局より議事(3)(4)を合わせて説明>

小森委員

○運行エリアは市内全域を対象とするのか？小学校区を決めて運行するのか？

事務局

○決めているわけではない。地区の特徴を示すため、検討する上での1つの目安として小学校区単位で表現している。これをベースに会議で決めていきたい。

上田委員

○近鉄バスの運行が縮小することはないか？

宮本委員

○藤井寺市を走る路線は乗車数が多い。運転手は足りてないが、減便予定はない。

小森委員

○近鉄バスと同じ路線を被せる必要はない。重複は回避するべき。

猪井会長

○運行エリアの考え方において、空白地や拠点施設をターゲットとすることで特に問題はないと思うがよろしいか。ではどこにするのかということ。次回会議に、これらの意見を踏まえ、案を事務局に考えてきてもらい、再度議論したい。

麻田委員

○運行案の中にある運賃は決定したものか。また、割引制度なども設定するのか。

事務局

○運賃はあくまで目安であり、割引制度と合わせてこの会議で決めていきたいと考えている。

糸迦戸委員

○2つ質問があります。1つ目は、緑ナンバーと白ナンバーのどちらで運行するのか？2つ目は、いきなり本格運行するのか？それとも実証運行するのか？実証運行において、公共施設循環バスと重複して走らせると乗客の取り合いになる。実証中は公共施設循環バスを運行しないなど工夫すべき。

事務局

○1つ目の質問については、既存の交通事業者の維持といった側面からも緑ナンバーでの運行を考えている。2つ目の質問については、実証運行を考えており、運行時に重複させるか否かは今後、検討すべき事項と考えている。

猪井会長

○実証運行は必ずやったほうがよい。実証運行した結果、運行方法が変わった例もある。豊中市は、デマンド型での実証運行を行った結果、盛況となり予約が取れない状況が発生し、一部については予約から路線運行方式に変更した例がある。ただ、路線定期運行（コミュニティバス）を考えた場合、ポンチョ型については、一定の道路幅員が必要となる。また、現在も生産が止まっており、実質準備できない状況である。他市では、納入時期が予定に間に合わず、補助金を返還した例がある。

どの程度の利用が見込めるかはやってみないと分からぬ。結果によっては運行方法を切り替えることもありと思う。

小森委員

○市民意見募集結果から、路線バス型、デマンド型の順で回答が多かったので考慮すべきではないか。

猪井会長

○今回で決定というわけではない。これらの意見を踏まえて、資料作成を行い、次の会議で決めることしたい。 → 反対意見なし

議事(5) 今後のスケジュール案

<事務局より説明> → 特段意見なし。

事務局

○次回会議では、運行手法、運行させる路線案や停留所の案を決定できる運行計画案をお示ししたい。 → 特段意見なし。

4. 閉会

猪井会長

○本日の議事はこれにて終了します。ありがとうございました。

事務局

○次回第3回の開催につきましては、来年1月下旬頃を予定していますので、日程等が決まりましたら、事務局よりご案内いたします。

以上